

定期情報

2018年
6・7
月号

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

2018年6月吉日 東京国立博物館 広報室



東京国立博物館公式キャラクター
ユリノキちゃん トーハクくん

総合文化展情報

親と子のギャラリー

トーハク×びじゅチューン！ なりきり日本美術館

7月24日（火）～9月9日（日）

本館特別4室・特別5室

NHK Eテレの人気番組「びじゅチューン！」とコラボレーションした企画です。葛飾北斎筆「富嶽三十六景・神奈川沖浪裏」や菱川師宣筆「見返り美人図」など、歌に取り上げられたトーハクの名作をテーマに、絵のなかの人物や、絵を描いた人になりきって、美術品の世界のなかで遊ぶ体験型展示です。暑い夏は、親子で涼しいトーハクへお出かけください。

主催：東京国立博物館、NHK 協力：公益財団法人東芝国際交流財団



展覧会チラシ

関連イベント ＊いずれも事前申込制。詳細は6月中旬以降、当館ウェブサイトをご覧ください

◇「トーハク×びじゅチューン！」コンサート(仮称)

8月4日(土) ①開演 11:30(開場 11:00) ②開演 14:30(開場 14:00) 平成館大講堂(定員各回 380名)

出演：井上涼 主催：NHK 協力：東京国立博物館

◇ファミリープログラム「なりきり日本美術」

8月11日(土・祝) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00

8月5日(日)は、トーハクキッズデー！

夏休みの自由研究にも、お子さんのミュージアムデビューにもぴったり！

ワークショップやミニコンサートなど、たくさんのイベントがあります。

対象：0歳～中学生とその保護者(小・中学生だけでの参加も可)

入館料：一般 620円／大学生 410円

＊高校生以下は無料、特別展は別途料金が必要

＊子どもと一緒に来館された方は100円割引



イベント情報

◇子どものためのギャラリートーク 刀とよろいかぶとのお話／考古のお話／たてもものお話 など

◇ワークショップ 勾玉作り(11:00～／14:00～。当日 9:30より、本館エントランスにて整理券を配布)／トーハクぬりえ

◇子どものためのミニコンサート

◇見学ガイドアプリ「学校版トーハクなび」貸出 博物館内を見学しながらタブレットでトーハク新聞が作れます。

◇キッズコーナー 授乳や離乳食のためのスペースを開設。託児サービス(事前申込制、有料)も実施。

＊特記以外はすべて事前申込不要、参加無料(ただし、当日の入館料が必要)

＊詳細は6月中旬以降、当館ウェブサイトをご覧ください。

特集「平成 29 年度 新収品」

6月19日（火）～7月29日（日）

平成館企画展示室

文化財収集は、博物館の大事な役割のひとつ

昨年度、新たにトータルハクの収蔵品に加わった作品、39件をご紹介します。

【主な作品】

正月飾り物図（右図）

羽子板や雑器（供物を盛るうつわ）、鼠の玩具などが寄せ集めて描かれ、そこに江戸時代の画家であり俳人でもあった酒井抱一が俳贊をしています。画家や富裕層の文化人の交流を垣間見ることのできる貴重な作品です。

重要美術品 五彩金欄手水注 中国・景德鎮窯 明時代・16世紀 坂本五郎氏寄贈

中国・明の嘉靖年間頃に景德鎮窯で焼かれ、日本へ運ばれました。酒注は茶人のあいだで懐石道具として人気を集め、優品が多く伝わります。大坂の豪商、加島屋広岡家旧蔵の一品です。

ワヤン・クリ デウォプロト インドネシア・中部ジャワ 20世紀 小林美實氏寄贈

インドネシアの伝統的な影絵芝居ワヤン・クリで用いる人形です。インドの叙事詩『マハーバーラタ』の登場人物を表しています。観客は、スクリーンに映った人形の影だけでなく、演者の側に回って人形そのものも鑑賞します。



正月飾り物図
酒井抱一俳贊
鈴木其一・鈴木蟬潭・
大西椿年・山崎鯉隠・
長橋文桂筆
江戸時代・文化13年
(1816)

特集「江戸の仏像から近代の彫刻へ」

7月10日（火）～9月30日（日）

本館14室

近代化がもたらした新たな展開

江戸時代の仏師のなかには、高度な木彫技術を生かして、近代以降も彫刻家に転身して活躍した作家もいました。「老猿」で知られる高村光雲も、幕末を代表する仏師の系譜を継ぐひとりです。

江戸の仏像から明治以降の彫刻作品へ、時代を追って展示をすることで、価値観の多様化にともなう仏像表現の新たな展開とその魅力をご覧ください。



高村光雲
高橋宝山作 江戸時代・19世紀

明・清代の山水画—淡彩の系譜

6月26日（火）～7月29日（日）

東洋館8室

都市ごとに異なる色彩感覚

明時代から清時代にかけて、江南地域の蘇州・松江（上海）・

揚州・蕪湖などでは、華やかな都市文化が栄え、文人たちの好

みにあった淡雅な色合いの山水画が流行しました。この色彩感覚には、上品な蘇州、やや奇をてらう松江、華やかさを追求する揚州、清新さを楽しむ蕪湖というように、それぞれの土地の個性が反映されました。また、この時期の山水画家は西洋画由来の光の感覚も積極的に取り入れており、作者ごとの微妙な差異も見所となります。



重要文化財 秋山行旅図巻
蕭雲從筆 中国 清時代・順治14年(1657)

特別展情報

※詳細は、当館ウェブサイト <http://www.tnm.jp/> >> 催し物をご覧ください

特別展「縄文—1 万年の美の鼓動」

7月3日(火)～9月2日(日) 平成館 特別展示室

この夏、「縄文の美」が一堂に！

誰もが知っている国宝「火焰型土器」や、おなじみの重要文化財「遮光器土偶」(青森県つがる市木造亀ヶ岡出土)をはじめ、神秘的な魅力にあふれる装身具や道具類など、縄文時代を代表する優品が一堂に会する、史上最大規模の「縄文」展です。縄文時代の遺跡は9万件を超える数が確認されていますが、数多ある縄文時代の出土品のなかでも、国宝はわずか6件。その国宝6件が初めて勢ぞろいします(うち2件は7月31日(火)～展示)。どうぞお見逃しなく！

報道関係お問合せ：特別展「縄文」広報事務局(共同PR内)

TEL:03-3575-9823 Fax:0120-653-545 E-mail:jomon-kodo-pr@kyodo-pr.co.jp



国宝 火焰型土器

新潟県十日町市 笹山遺跡出土
新潟・十日町市蔵(十日町市博物館保管)
写真：小川忠博

東京国立博物館・フィラデルフィア美術館交流企画特別展

「マルセル・デュシャンと日本美術」

10月2日(火)～12月9日(日) 平成館 特別展示室第1室・第2室

デュシャンと日本美術、比べて考える

本展は、フィラデルフィア美術館による「現代美術の父」デュシャンの展覧会と、日本美術で構成する日本美術展を見比べて、それぞれの特色や意味を改めて見つめ直そうとするものです。初来日の油画作品や貴重な資料・写真を含む約150点でデュシャンの活動を辿る一方、日常生活の道具に見出された「美」や、「ゆがみ」「ひずみ」といった桃山の美意識など、西洋ではとりあげられない日本の美の特質を浮かび上がらせようという挑戦的な試みです。

報道関係お問合せ：特別展「マルセル・デュシャンと日本美術」広報事務局(株式会社OHANA内)

TEL:03-6869-7881 Fax:03-6869-7801 E-mail:duchamp2018@ohanapr.co.jp



展覧会チラシ

特別展「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」

10月2日(火)～12月9日(日) 平成館 特別展示室第3室・第4室

快慶、定慶、行快の名品が勢ぞろい！

千本釈迦堂の通称で親しまれている京都の大報恩寺は、鎌倉時代の1220年(承久2年)に義空上人が開創した古刹です。本展では、快慶の弟子、行快作の釈迦如来坐像(同寺の秘仏本尊)と、快慶晩年の名品・十大弟子立像、運慶の弟子筋にあたり、行快とほぼ同じ世代である肥後定慶作の六観音菩薩像など、同寺に伝わる鎌倉彫刻の名品の数々をご紹介します。

報道関係お問合せ：特別展「大報恩寺」広報事務局(ユース・プランニングセンター内)

TEL:03-3406-3419 Fax:03-3499-0958 E-mail:kaikei-jokei2018@ypcpr.com



重要文化財 准胝観音菩薩立像
(六観音菩薩像のうち)

肥後定慶作 鎌倉時代・貞応3年
(1224) 大報恩寺蔵

<講演会>

月例講演会「ひらがなの美－高野切－」

日時：6月9日(土) 13:30～15:00

講師：恵美千鶴子(百五十年史編纂室長)

平安時代・11世紀の「高野切」は、その完成された仮名が、現代のひらがなの基礎といえます。高野切や同時期の仮名の世界をご紹介します。

月例講演会「江戸の仏像と近代の彫刻」

日時：7月14日(土) 13:30～15:00

講師：西木政統(貸与特別観覧室研究員)

江戸時代まで造られていた仏像は、明治以降は文化財や彫刻作品としても認められるようになりました。その変化について、館蔵品を中心にお話します。

*会場は平成館大講堂、定員 380 名、聴講無料(ただし当日の入館料が必要) *開場は開始の 30 分前(予定)

<ファミリーツアー & 子どもツアー>

「トーハク劇場へようこそ！」**事前申込制**

展示室を舞台にした演劇形式のツアーを、6月は法隆寺宝物館で、7月は考古展示室で行います。劇場にお芝居を観に行くような感覚で、展示をお楽しみいただきます。

◇法隆寺宝物館編

ファミリーツアー(対象：小学1～3年生とその保護者)

(A)6月23日(土) 11:00～12:00 / (B)6月24日(日) 11:00～12:00

子どもツアー(対象：小学4～6年生。保護者の見学可)

(C)6月23日(土) 14:00～15:00 / (D)6月24日(日) 14:00～15:00

◇考古展示室編

ファミリーツアー(小学1～3年生とその保護者)

(E)7月14日(土) 10:00～11:00 / (F)7月15日(日) 10:00～11:00

子どもツアー(対象：小学4～6年生。保護者の見学可)

(G)7月14日(土) 13:00～14:00 / (H)7月15日(日) 13:00～14:00

定員：(A)(B)(E)(F)は各回10組、(C)(D)(G)(H)は各回20名(いずれも応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。

申込締切：法隆寺宝物館編(A、B、C、D) **6月7日(木)必着** / 考古展示室編(E、F、G、H) **6月28日(木)必着**

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)教育普及室



前回の「考古展示室編」の様子

お知らせ

・6月12日(火)は、電気設備等保守点検のため臨時休館します。

・6月10日(日)18:00～13日(水)9:00まで、館内設備保守作業にともない、「e 国宝」「研究情報アーカイブズ」「画像検索」「デジタルライブラリー」「ColBase」のサービスを休止いたします。なお、この間の「図書検索」サービスは利用可能です。

・6月18日(月)～6月25日(月)は、東洋館12室はメンテナンスのため、一部の展示ケースの展示を行っていません。

・6月25日(月)～7月9日(月)は、本館13室・14室は展示環境整備のため閉室します。

○メールマガジンのご案内

展示替え等の最新情報をお届けします。当館ウェブサイト(<http://www.tnm.jp/>)からご登録いただけます。

○プレスリリースをダウンロードできます

特別展などのプレスリリースをウェブで公開しています。当館ウェブサイト、トップページ右下にある「プレスの方へ」をご覧ください。